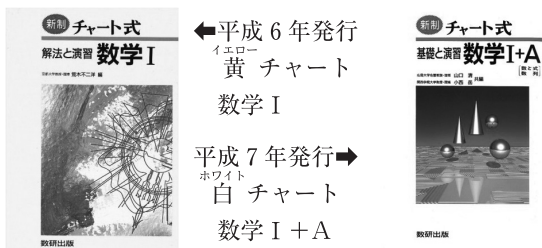


# チャート式数学参考書の変遷 (2) (全 2 回)

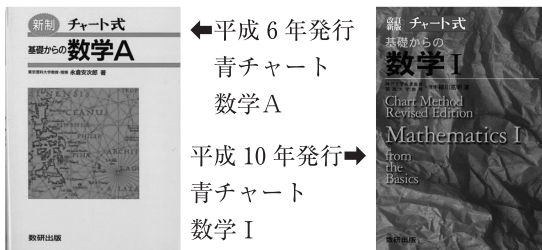
数研出版 編集部

前号では、時代が平成に入り 4 シリーズ体制となったところまでのお話でした。

1993 年 (平成 5 年) の教育課程 (数学 I, 基礎解析, 代数・幾何, 微分・積分, 確率・統計) までは B6 判の赤・青チャート, A5 判の解法・基礎演といったラインアップでした。1994 年 (平成 6 年) からの教育課程 (数学 I A II B III C) となってから、『基礎演』の企画が大きく変わりました。例題がページ頭から始まるようになるなど、使いやすさを重視したページ構成となりました。この頃から表紙・カバーの色とも関連付けて「黄」「白」と呼ぶようになりました。ただし、当時は『黄 (イエロー)』、『白 (ホワイト)』などとルビが振ってありました (今ではあまり聞きませんが…)。



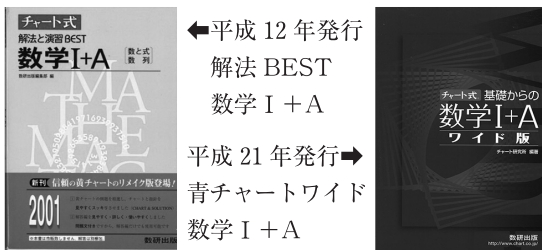
なお、『青チャート』はまだ緑色のカバーでした。この課程の改訂版でようやく青色になりました。



2000 年 (平成 12 年) には『解法 BEST』シリーズを発行しました。

解答編の別冊化・2 色化や今では当たり前となった解答編への問題文掲載などを行った、現在のチャート式へつながる新しいシリーズとなりました。

2009 年 (平成 21 年) には、『青チャートワイド』シリーズを発行しました。発行当初は 2 段階のうち易しいシリーズであった『青チャート』ですが、入試対策を主としていることもあり、教科書との準拠性を強く打ち出している『黄白チャート』と比較すると難しく感じられることが多くなりました。教科書レベルの内容から入試対策まで幅広く (ワイドに) 扱うことを意識した新シリーズとして、『青チャートワイド』版を発行し、大変好評いただきました。その後の『青チャート』シリーズは、この『ワイド版』を踏襲する形となっています。



新課程でも「チャート式」の精神を受け継ぐ一方、解説動画を書籍購入者には追加費用なしでご視聴いただけるようにする (青黄白チャート) など、時代とともに進化しています。

「数研出版 100 周年記念サイト」  
100 周年を記念してサイトを開設！  
<https://www.chart.co.jp/100th/>



数研出版 100 周年を記念して、『青チャート I + A』の 100 周年記念カバーを制作しました！

表面：特別デザイン、裏面：通常デザインのリバーシブル仕様となっています。  
※2024 年 1 月出荷分から、上記特別仕様カバーで納品いたします (冊数限定)。

